第１号様式（総括）

口座名

所　在　都道府県　郡市区　町村　番地

索引番号	

異動年月日	区分	種目	増額		減額		現在額		備考
			数量	価格	数量	価格	数量	価格	
				円		円		円	

（日本工業規格Ｂ４）

ページ

記載要領

１　１の口座ごとにつける。ただし、１の口座が１葉のときは、これを省略することができる。この場合においては、調整要領第12項による区分表示欄を赤線で囲むものとする。

２　１の口座に属する財産を、国有財産区分種目表に定める区分、種目の順序に従つて計上し、末尾に価格の計をつける。

増減を記入する場合は、そのつど前段の順序に従つて記入するとともに、増減のあつた種目の現在額欄の数量、価格を差引記入する。

３　所在欄には、都道府県郡市区町村大字字地番を記入する（２以上の地番があるときは、その主要なものを記入する。）。ただし、これにより難いものは、便宜の方法によつて適宜記入することができる（以下各葉の所在欄の記入について同じ。）。

４　数量単位が２以上に及ぶものは、数量欄を適宜区分して相当欄を設ける。

５　備考欄には、必要により、増減のあつた各葉のページ数を記入する。

６　年度を経過するごとに横線を画し、前年度末に存した財産の区分、種目を改記のうえ、その年度間における増減額を種目別に集計して記入するとともに、これを前年度末現在額から差し引いて現在額欄に記入する。ただし、その年度間に増減のなかつたときは、これを省略する。

第１項により総括を省略した場合には、各葉において、前段に準じて整理する。